

浅川力三 県政だより



誠意・熱意・創意・勇気を持って「熱き心で行動する男」

「4年目の総仕上げ！横内知事と共に邁進！」

県議会議員 浅川 力三

フィギュアスケートを筆頭に日本中の関心を集めたバンクーバーオリンピックも華やかなうちに閉会し、一抹の寂しさもありますが、梅も咲き、桜の開花となる3月・4月は人生において尽きぬ、別れ・出会いの季節であり、新たな思いに駆られる時節でもあります。

さて、先の2月議会におきましては、過去最高の138名に上る地域の皆様方に私の代表質問を傍聴していただきました。日頃、私の政治活動に対する多くのご支援・ご指導と併せまして、改めまして厚く御礼申し上げます。



2月議会では、副議長職にありながら、議会改革の一環として慣例に基づかず県民クラブを代表して初めて代表質問に臨みました。私のライフワークであるC型肝炎対策・観光施策などを取り上げましたが（詳細は、以下に記載）改めて感じましたことは、議員活動の本分は、やはり壇上での質問に尽きるということでもあります。

財政事情も厳しく、様々な問題が山積する中で、一朝一夕のうちに成果を生み出すことは容易ではありませんが、県政の中長期的な展望の観点からは勿論のこと、県民・地域住

民の課題・ニーズに沿った質問を展開することで、県政を質し、施策に新風を吹き込み、皆様方の負託に応えることが議員の本懐であることを改めて痛感いたしました次第です。

また、一方で2月議会を限りに副議長を辞しましたが、職務を通じて、議会運営の課題を考えさせられると共に、質問の妙というものを会得する機会に恵まれたことは大きな収穫でありました。

憲政の父といわれた尾崎行雄は「人生の本舞台は常に将来にあり」と述べております。人は何歳になっても、それまでの人生は序幕にすぎず、これからが本舞台なのだという意味だそうであります。

来年度は、私の議員任期の最終年度になりますが、このことを座右の銘として、奮闘していきたいと考えております。



今年も大好評のうちに第4回「雪合戦大会」が行われました。

NHKをはじめ数々のメディアに報道され、さらに今年は参加の36チーム中、山梨県外からのチームが19チームでした。東京、神奈川、長野、遠くは大阪からの参加チームもあり、ようやく全国に認知され始め冬の宿泊に貢献できるイベントとして定着してきた感があります。

これからも皆様のお力をお借りしながら、北杜市の冬の観光イベントとして育てていく事を望んでいます。



1月より進めている農業と観光のアンケートは、予想以上の多くの皆様にご意見をいただき、現在、集計作業を急いで進めています。まとめ次第、発表させていただきます。

ホームページが新しくなりました。

浅川力三の考えている事やどんな活動をしているのか、今まで以上に知っていただくためにリニューアルしています。

浅川力三 プロフィール

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■昭和22年7月8日
高根町清里村で父勝平、母すず系の五男として生まれる父は清里村 村長、高根町 町長を歴任 ■昭和41年
須玉商業卒業 ■昭和45年
拓殖大学卒業 ■昭和49年
昭和薬科大学卒業 ■昭和59年
八ヶ岳青年会議所創立メンバー/副理事長 | <ul style="list-style-type: none"> ■平成9年
清里小学校PTA会長 ■平成10年
高根町議会議員 ■平成13年
高根町議会副議長 ポール・ラッシュの会々長 ■平成15年
山梨県議会議員 ■平成16年
清里観光振興会々長 ■平成17年
「決算特別委員会」委員長 | <ul style="list-style-type: none"> ■平成18年
「県出資法人特別調査委員会」委員長 山梨県雪合戦連盟設立会長 ■平成19年
「農政商工観光委員会」委員長 山梨県信用保証協会 理事 企業会計決算特別委員長 山梨県農業信用基金協会 理事 | <ul style="list-style-type: none"> ■平成20年
「総務常任委員会」委員長
北杜市観光協会 会長 ■平成21年
山梨県議会 副議長
北杜ライオンズクラブ 会長
オール山梨青年会議所シニア会長
財団法人 やまなし観光推進機構 副会長
グランフォンドハヶ岳実行委員長 |
|---|--|--|--|

ホームページアドレス
<http://www.asakawa-rikizo.net>

本会議【代表質問】

<平成22年度当初予算の編成方針>

- 歳出の徹底的な見直し、職員数の削減、給与の削減措置の継続
- 経済対策として、緊急雇用創出事業などにより、2,500人の雇用創出、商工業振興資金として250億円の融資枠を確保
- 安心・安全の確保として、医療、福祉、子育て支援などに積極的に予算措置
- 環境施策としてクリーンエネルギーの導入促進
- 将来に向けた資本投資として、中部横断道リニア中央新幹線などの基盤整備推進など

<リニア中央新幹線の開業に向けた取り組み>

- 国の交通政策審議会にて1～2年のうちに整備計画が決定され、営業主、建設主体が指名される。これらの動向を注視しながらリニア駅を中心とした整備について、明年度に既存新幹線駅の状態を調査・研究するほか、「リニア活用基本構想」を策定して活性化方策や基盤整備の方向性を決定する。

<明野最終処分場対策>

- 受け入れ料金引き下げと搬入量増加に取り組む。
- 埋め立て期間の延長については地元の皆様と誠意をもって協議したい。
- 税金で建設した施設であるので、極力赤字を縮減して県民負担をおさえない。

<少子化対策>

- 「みんなで明るく0歳から3歳子育て推進プロジェクト」、「届け！安心子育て情報発信プロジェクト」、「全ての児童への支援推進プロジェクト」に重点的に取り組み、子育てに関するサービスや情報発信などを推進していく。

<社会資本整備>

- 公共事業予算確保を国に働きかける一方、必要性・緊急性などを厳格に評価して事業を実施
- 国の交付金と併せ43億円の県単独事業を実施、明年度予算と併せ事業を切れ目なく執行
- 建設業支援として融資枠を確保すると共に、経営革新などを支援するコンサルタントの派遣、新分野事業に進出する補助金限度額の引き上げなどを実施。

<C型肝炎対策>

- 「肝疾患コーディネーター」を活用した感染者の早期発見・早期治療の実施
- 「肝炎保健指導事業導入ガイドライン」による保健指導体制の普及促進
- 「インターフェロン治療費助成」
22年度から自己負担限度額を月5万円を2万円、3万円を1万円に引き下げ、利用回数も2回に拡大
- 「核酸アナログ製剤治療」の患者も助成対象とする。



<観光振興>

i 外国人観光客の誘致対策

- 今年の5月から開催される上海万博に向け、海外メディア・旅行者向けに観光情報を発信するほか、県産品の宣伝活動を展開

ii 新たな国内観光対策

- 企業や各種団体、学会などの研修・総会・会議などのMICE（マイス）と呼ばれる分野が新たな団体旅行として注目されている。
- やまなし観光推進機構に促進部会を設置して、市町村、観光事業者、NPOなど官民一体となって、その取り込みを図っていく。

<農業振興>

i 耕作放棄地対策

- 新規就農者に耕作放棄地を貸し出す「リース樹園地整備支援事業」を創設
- 「耕作放棄地再生活用5ヶ年計画」に基づき農地、多様な活用を図る農地、山林に戻す農地の3つに区分し計画的な解消を推進
- 明年度は農地の集積など促進する専任スタッフを配置

ii 担い手の確保対策

- 「担い手対策室」を設置し、市町村・JAと担い手対策を推進
- 農業大学校内の「就農トレーニング塾」を開設

<産業振興ビジョンの策定>

- 国の新成長戦略などを踏まえ成長が期待できる医療・介護・環境・エネルギー・観光・農業などについてビジョンを策定

<やまなしグリーンニューディール計画>

i クリーンエネルギーの導入促進対策

- 個人住宅への太陽光発電の助成件数の拡大や民間事業者へも助成を実施
- 木質バイオマスの活用を図るため、森林の作業路網の整備、搬出コストなどの削減を支援
- 地中熱の活用は、掘削などのコスト面、周辺地盤への影響などについて実証実験を重ね、地中ヒートポンプの活用について調査・研究を行う。

ii 燃料電池の実用化支援策

- 「水素ステーション」の設置可能場所について調査を実施
- 燃料電池自動車の試乗会を開催

<少人数学級>

- 導入済みの小・中学校の状況調査、実績の分析を踏まえ庁内に検討委員会を設置して効果的な少人数学級の検討

農政商工観光委員会

<観光施策について>

【問】海外観光客の誘致はどの地域にウェイトをおくのか。

【問】今年の5月から開催される上海万博への対応は。

【問】東京日本橋にある「富士の国やまなし館」の運営方針は。

【問】実際の現場をみると運営が情報発信にあるのか販売にあるのか、判然としないが。

<農業対策について>

【問】鳥獣対策は被害者感情に基づく対策が十分でない。その対策は。

【問】地中熱を活用したハウス栽培の推進策は。

【問】農業大学の訓練生の応募状況と就農の状況は。

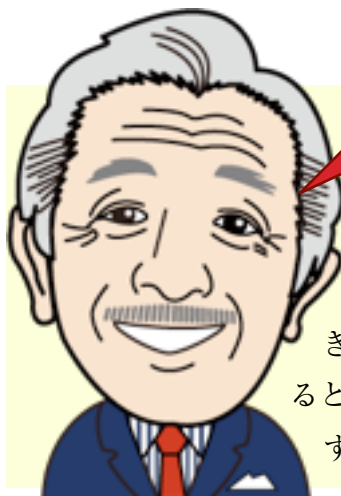
【問】農業協力推進事業は何年継続するのか。また、隊員の育成人数は。

<ワイン振興について>

【問】知事が海外まで出向きワインのトップセールスをしているが、セールスの主眼としているワインはどのようなものか。

【問】県内のワイン醸造用ぶどうの作付け状況は。

【問】温暖化で甲州種が長野県の塩尻に作付けされていると聞いている。県産ワイン振興について戦略を立て、栽培農家を的確に指導していく必要がある。



2月定例県議会議会を終えて

平成22年度予算の骨子も決まり、横内知事と共に邁進してきた県政も任期4年目に当たる総仕上げの段階となりましたが、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の主人公：坂本龍馬の師匠である勝海舟の言葉、「何でも大胆にかからねばならぬ。難しかろうが、易しかろうが、そんな事は考えずにいわゆる無我の境に入って断行するに限る」が胸に響きます。知事を支える県民与党の一員として、これまで、県政にどれだけ貢献できたのか自問自答するところですが、ひとつの区切りを一年後に控え、画竜点睛を欠く如きにならないよう努める所存です。今後とも、皆様方の叱咤激励よろしく申し上げます。